

2023年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】			所管課	文化スポーツ課
施設名	須坂版画美術館・平塚運一版画美術館			
所在地	須坂市大字野辺1386-8			
施設設置目的	市民文化の向上に資するため			
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造一部木造 地上1階 延床面積863.45㎡			
建設年月	1991年10月	指定管理 開始年月	2009年4月	

【指定管理概要】

指定管理者名	(一財)須坂市文化振興事業団			
指定期間	2019.4.1～2024.3.31			
業務内容	(1) 閲覧及び工房の利用の許可並びに許可の取消し及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 観覧料等の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のため実施する事業に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務			
職員体制	常勤： 2名 非常勤： 2名 合計： 4名			
(専門職、役職等内訳)	学芸員1名			

1 施設利用状況

			実績				
項目	単位	目標値	2021年度	2022年度	2023年度	対前年比	対目標値
入場者数	人	20,407	10,456	17,483	14,306	81.8%	70.1%
		※2017-2019 実績平均値					
特記事項	2022年度は、善光寺御開帳に伴う団体客が多かったことが要因と考えられる。						

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者				市			
科目		予算額	決算額	科目		予算額	決算額
収入	指定管理料			収入	使用料・手数料		
	使用料・手数料						
	その他				その他		
	収入計				収入計		
支出	人件費			支出	指定管理料		
	需用費				修繕費		
	役務費				備品購入費		
	その他				その他		
	支出計				支出計		
管理事業損益 (a)				管理事業損益			

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	
---------------------------------	--

特記事項	収支状況は、文化会館に含む。
------	----------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
合計			自主事業損益(b)

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	アンケート記入方式(来館者)
	(2) 調査等の結果
	88人回答
②利用者からの声	(1)良好とする評価
	○すべての展示が良かったです。パンフレットもわかりやすくデザインも素敵です。また来たいと思います。 ○初山版画展うれしかったです。色彩のトーンが繊細です。初山氏のいぶき作品のすてきさを感じました。 ○平塚運一の刀筆の力強さがすごい。 ○スタンプラリーなど子どもが喜ぶことがあって良いと思いました。 ○身近に美術にふれることの出来る美術館があるのはとてもありがたいです。 ○須坂が版画の町ということを初めて知れて有意義でした。
	(2) 苦情・改善の要望
	○もう少し館内が明るかったらと思います。 ○館内が暗くて文字が小さくて読みにくい。作者名もかがまないと読みにくい。 ○トイレに子供用の補助便座があるとうれしい。 ○休憩用のイスがあると助かります。 ○遊びエリアを増やして欲しい。 ○棟方志功の版画を展示して欲しいです。
③対応措置	○お客さまのご要望を今後の検討材料にする。 ○照明による作品劣化を防ぐため、適切な照明をあてている。照度が低くしてある理由を来館者にも分かるように掲示した。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	3
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	◎	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	2
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	○	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	○	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 15 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点～13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 今年度の取り組みに対する評価

企画展「長野県ゆかりの版画家たちによる表現の世界～多様～」は、信濃毎日新聞に半面を使った記事も掲載され、異なる版種による表現の違いを紹介でき、期間中のワークショップにも家族連れが参加され、版画の楽しさを知ってもらえる展示となった。

もう一つの企画展「没後50年 初山滋版画展～初山イズム～」は、童画をメインに紹介するいわさきちひろ記念事業団と共催し、初山滋の版画家としての側面を紹介でき、県外からの来館者もあった。

おやこのアトリエを始め、イベントに合わせて開催するワークショップに多くの子どもたちが参加し、美術に親しむ機会を提供することができた。

他団体との連携、共催事業も数多く実施し、小中学校美術品巡回展では、対話型鑑賞形式の授業を行い大変好評だった。県障がい者福祉センター「サンアップル」の事業に2回ワークショップを開催し、障がい者の皆様に美術に親しむ機会を提供することができた。

恋人の聖地事業を活用し、アニメーションの制作やワークショップを開催し、館の魅力アップや来館者の満足度アップにつなげることができたが、年間の入館者数は、14,306人、対前年度比81.8%と減少した。

(2) 課題

おやこのアトリエなどのリピーターの参加者もあり、版画美術館の知名度は上がってきているが、市内に版画専門の美術館があることを知らない市民の方も多く、引き続き、魅力ある展示企画、ワークショップ開催、SNSの発信の一層充実広報、外部団体との連携、協力しての事業展開が必要。

開館30年が経過し、次年度は長寿命化工事のため、約半年間休館となるが、その間も継続して実施できるワークショップは工夫して開催し、リピーターが離れていかないようにする必要がある。

(3) 次年度以降の取り組み

恋人の聖地事業の活用や外部・関係団体との一層の連携、協力を進め、魅力的な事業(ワークショップ、企画展など)を実施し、誘客を図る。須坂市の版画の普及に寄与されてこられた皆様が高齢化してきており、初心者向けの版画教室を増やすなど、後進の育成と版画の普及に一層努める。

休館となるが、施設外での小学生版画展の開催やおやこのアトリエの実施などを継続し、子ども向けワークショップを積極的に開催、子どもたちに版画、美術に親しむ機会を提供する。

(4) その他

文化スポーツ課と連携を図り、適切な施設の維持管理と作品の保管、活用に努める。

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

施設の管理は概ね良好

例年実施している親子のアトリエはリピータも多く認知度が上がっている。

学芸員による、他団体との連携、共催事業を数多く実施、また小中学校美術品巡回展を始めて開催し、対話型鑑賞形式の授業を行いたいへん好評で版画美術館のPRにつながった。